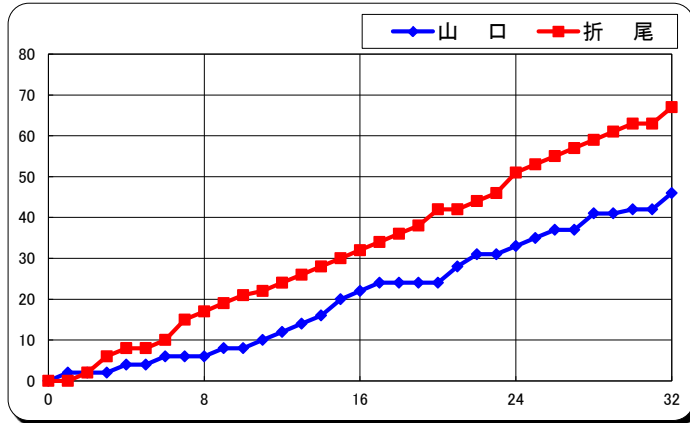




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会											
会場	高松市総合体育館											
日時	平成26年8月25日(月) 10:20											
コート	T Bコート	第2試合										
カテゴリー	女	準決勝										
主審	白川 一樹	(本部)										
副審	長谷川 裕	(神奈川)										
副審	工藤 由佳	(北海道)										
Team A		Team B										
山口	46	67 折尾										
埼玉		福岡										
	<table border="1"> <tr><td>6 1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>16 2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>11 3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>13 4th</td><td>16</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	6 1st	17	16 2nd	15	11 3rd	19	13 4th	16	OT		
6 1st	17											
16 2nd	15											
11 3rd	19											
13 4th	16											
OT												

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A	山口						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	高野 香菜	×	10	0	4	2	0
5	佐藤 彩乃	×	14	0	6	2	3
6	山口 蘭	/	0	0	0	0	0
7	三矢 華菜	/	2	0	1	0	0
8	伊藤 ここ寧	×	12	0	6	0	2
9	中村 友美	DNP	0	0	0	0	0
10	新井 萌衣	DNP	0	0	0	0	0
11	小澤 実里	/	2	0	1	0	1
12	羽生 梨々花	DNP	0	0	0	0	0
13	辻岡 咲菜	DNP	0	0	0	0	0
14	福島 真衣	×	4	0	2	0	3
15	児玉 結唯	×	2	0	0	2	1
16	寺坂 日菜	DNP	0	0	0	0	0
17	渋谷 彩奈	DNP	0	0	0	0	0
18	加藤 麗	DNP	0	0	0	0	0
監督	中井 愛						0
コーチ	森田 望						0
合計			46	0	20	6	10

Team B	折尾						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	安部 星海	DNP	0	0	0	0	0
5	木村 亜美	×	7	0	3	1	1
6	山本 璃絵流	DNP	0	0	0	0	0
7	野津 ななこ	×	2	0	1	0	1
8	橋口 樹	×	19	0	7	5	0
9	土谷 三奈未	×	14	0	7	0	2
10	但馬 怜生奈	DNP	0	0	0	0	0
11	山口 里奈	/	2	0	1	0	0
12	鷹木 彩	DNP	0	0	0	0	0
13	小野 楓夏	DNP	0	0	0	0	0
14	岡田 彩伽	DNP	0	0	0	0	0
15	川端 日菜子	×	23	0	11	1	4
16	島 濤七	DNP	0	0	0	0	0
17	奥田 千里	DNP	0	0	0	0	0
18	古閑 万優子	DNP	0	0	0	0	0
監督	柴田 比佐恵						0
コーチ	岡西 優子						0
合計			67	0	30	7	8

【戦評】

山口(埼玉)と折尾(福岡)の対戦となった準決勝。両チームともにマンツーマンDefで始まる。山口は#8の3Pや#4のドライブを中心にOffを組み立てる。対する折尾はインサイドの#8にボールを集めるが、山口#5の厳しいDefになかなかボールをつなげない。しかし#9のミドルシュートや#15のリバウンドからの速攻で連続得点し、1Qを6対17で終える。2Q立ち上がり折尾#15のフリースローをきっかけに山口がオールコートゾーンプレスをししかけるが、折尾が突破し得点につなげる。残り6分21秒には、山口はタイムアウト後、Defをマンツーマンにもどし、Offでも#4のミドルシュートや#5の合わせなど、いろいろな方法で相手Defをくずしにかかり、#14、#5のリバウンドでこつこつと得点し、前半を22対32で終了。

後半互いにハーフマンツーマンでスタート。山口#5のシュートで始まるが、折尾#15のリバウンドシュート、ミドルシュートなどで次々と得点。たまたま残り5分に山口がタイムアウトを取るが、直後に#8の速攻等で得点される。しかし山口は2-2-1のゾーンプレスDefをししかけ、#8の連続得点で少しずつ流れを引き寄せた。折尾も#9のミドルシュートで応戦し33対51で3Qを終了。4Q折尾は#9のミドルシュートや#5のドライブで次々と追加点を奪う。山口も#4のジャンプシュートや#5のインサイドでOffを組み立てるが46対67で最後は折尾が勝利する。山口#5、#14の懸命なリバウンドの前に高さで勝る折尾が勝利し、決勝へと駒を進めた。

【戦評記入者】

守屋 智彦